

“財務マネジメント・サーベイ”アンケートご協力をお願い

IT・情報システム投資の財務マネジメント &

特別調査：IFRS適用延期をどう考えるか？

調査実施：日本CFO協会

CFO(経理財務担当役員)各位

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より弊会の諸活動に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本CFO協会ではCFOの方々に関心の高いテーマについて日本企業の動向を実態調査していく「財務マネジメント・サーベイ」を実施しており、今回は「IT・情報システム投資の財務マネジメント」をテーマに取り上げます。

連結経営の更なる強化や経営の可視化・内部統制という大きな課題に取り組むCFOにとって、IT・情報システムの活用は企業経営のインフラとして益々重要性を増しており、改めてこのテーマを取り上げて議論を深めるべきだと考える次第です。また、今般、政治主導で延期となったIFRS適用につきましてもこの機会に特別調査として追加の調査項目を用意させて頂きました。是非ご回答頂きたく宜しくお願い申し上げます。

ご多忙中とは存じますが、別紙調査票にご回答頂き、FAXにてご返信頂きますようお願い申し上げます。

謹白

記

調査ご対象者：上場企業のCFO(経理財務担当役員)様

ご回答締切日：7月29日(金)

ご照会先：日本CFO協会事務局 <http://www.cfo.jp>
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-1 塩崎ビル2F
TEL 03-3556-2334 FAX 03-3556-2320 e-mail info@cfo.jp

以上

<ご回答データの取り扱いについて>

貴社からご回答頂きました内容は日本CFO協会が責任をもって管理し、貴社の同意なく第三者への提供は致しません。調査結果の分析を専門家へ依頼する場合にも、全体の集計結果のみを提供し、企業別の回答データを提供することはありません。

2011年7月

日本CFO協会
専務理事 谷口 宏

<ご回答者特典！>

1. エグゼクティブのための経営財務情報誌「CFOFORUM第38号」
(9月10日発行号を1部無料進呈)
2. 書籍『IFRS時代の会計イノベーション』1部無料進呈
グローバル連結経営を実現する情報システム戦略』
(IBM Global Business Services 経理財務変革コンサルティング著・日経BP社)
※調査特典は、9月上旬にお届する予定です。



財務マネジメント・サーベイ IT・情報システム投資の財務マネジメント

<ご回答データの取り扱いについて>

ご回答頂きました個社別の回答データは日本 CFO 協会が責任をもって管理し、回答者の同意なく第三者への提供は致しません。調査結果の分析を専門家へ依頼する場合には全体の集計結果のみを提供し、個社別の回答データを提供することはありません。

以下の質問事項について、該当個所にチェックして FAX をお願いいたします。

ご回答期限：7/29（金）

■貴社のプロフィールについて

業 種 製造業 卸売業 小売業 サービス業 金融業 その他（ ）

グループ売上高 100 億円未満 100 億円以上～1,000 億円未満
1,000 億円以上～5,000 億円未満 5,000 億円以上～1 兆円未満 1 兆円以上

グループ従業員 1,000 人以下 1,000 人以上～5,000 人未満
5,000 人以上～1 万人以下 1 万人以上

グループ社数 10 社未満 10 社以上～50 社未満 50 社以上～100 社未満
100 社以上～500 社未満 500 社以上

海外売上高比率 10%未満 10%以上30%未満 30%以上50%未満 50%以上
外国人持株比率 10%未満 10%以上30%未満 30%以上50%未満 50%以上



■貴社におけるCFOの役割についてお伺いします。

Q1 貴社 CFO の分掌は次のどれですか？（複数回答可）

財務・経理 経営企画 IR コンプライアンス リスクマネジメント
購買 物流 人事 会計システム 管理会計・経営管理システム
会計・管理会計・経営管理以外の情報システム その他（ ）

Q2 上記の分掌について該当するものはどれですか？（一つを選択）

自社のみ 連結会社の一部 すべての連結会社 その他（ ）

Q3 貴社にはCIO（最高情報責任者）に相当するIT・情報システムの担当役員がいますか？

いる CFO が兼務 CEO が兼務 いない その他（ ）

Q4 貴社におけるITの決裁へのCFO・財務部門のかかわりについて、次のどれがもっとも当てはまりますか？

財務部門が利用するシステム案件の場合のみ、最終決裁者としてかかわっている
財務部門が利用するシステム案件の場合のみ、中間決裁者としてかかわっている
主要なシステム案件に、最終決裁者としてかかわっている
主要なシステム案件に、中間決裁者としてかかわっている 決裁には関わっていない

■CFOの視点からみた貴社の経営上の課題についてお伺いいたします。

Q5 貴社 CFO にとって、最も重要な課題は何ですか？

事業ポートフォリオの再構築 財務基盤の強化 IR M&A 戦略
エンタープライズ・リスク・マネジメント 中長期計画 業績/予算管理 IFRS 対応
サステナビリティ 事業継続(災害対策) 内部統制対応 CSR
コーポレートガバナンス 連結決算の早期化 グローバル・キャッシュ・マネジメント
情報システムの強化・再構築 業務プロセスの効率化、標準化 グループ経営管理の高度化
経理財務業務、システムのシェアード化 プロフェッショナル人材の育成・採用
その他（ ）

Q6 貴社の有価証券報告書の「事業等のリスクに関する情報」のなかで、リスクの開示に加えてBCPの取組みについて記述していますか。

常に記述している 記述するときもある 記述したことは無い 今回の震災を機に記述することを検討

■CF0の視点から見た貴社のIT・情報システム上の課題についてお伺いいたします。

Q7 貴社におけるITの役割として理解されているのは、次のどちらが当てはまりますか？

業務を効率的に実行して、コスト削減をもたらす 『道具』

自社の成長戦略を具現化して、ビジネス結果をもたらす 『武器』

Q8 貴社におけるIT投資対効果の現状について、次のうち該当するものにチェックをしてください。(複数回答可)

決算期単位で、その期に発生したITコスト(購入費用、維持費用など)を対前年、対前期、対予算などで評価

決算単位で、その期に発生したITコスト(購入費用、維持費用など)を売上や利益などのビジネス結果と結びつけて評価

決算単位を超え、ITの総所有コスト(TCO)を、売上や利益などのビジネス結果と結びつけて評価

自社製品・サービスの単価あたりのITの総所有コストとして評価

詳細な評価はしていない

Q9 貴社におけるIT投資対効果について、今後実施したい内容は、次のうち該当するものにチェックをしてください。

(複数回答可)

決算期単位で、その期に発生したITコスト(購入費用、維持費用など)を対前年、対前期、対予算などで評価

決算単位で、その期に発生したITコスト(購入費用、維持費用など)を売上や利益などのビジネス結果と結びつけて評価

決算単位を超え、ITの総所有コスト(TCO)を、売上や利益などのビジネス結果と結びつけて評価

自社製品・サービスの単価あたりのITの総所有コストとして評価

詳細な評価はしていない

Q10 貴社におけるITの構築手法について、次のどれがもっとも当てはまりますか？

事業や組織毎にシステムを構築 業務アプリケーション毎にシステムを構築

全社規模の共通システム基盤を構築 分からない

Q11 下記のいずれかのメインフレームを利用していますか？(複数回答可)

富士通 日本IBM 日立 NEC ユニシス メインフレームは使っていない 分からない

Q12 現在ご利用中のメインフレームの今後についての意向をお知らせください。

同じメーカーのメインフレームへ移行 同じメーカーのオープンシステムへ移行

違うメーカーのメインフレームへ移行 違うメーカーのオープンシステムへ移行

移行は検討しておらず、現在そのまま継続利用 関わっていないので、分からない

その他 ()

■貴社における業務アウトソーシングについてお伺いいたします

Q13 バック・オフィス業務の従業員規模をお答え下さい。

・経理財務 10人未満 10名 ~ 49名 50名 ~ 99名 100名以上

・人事 10人未満 10名 ~ 49名 50名 ~ 99名 100名以上

・購買 10人未満 10名 ~ 49名 50名 ~ 99名 100名以上

・その他(具体名:)

10人未満 10名 ~ 49名 50名 ~ 99名 100名以上

Q14 業務アウトソーシングへの取組み状況をお答え下さい

・経理財務 実施済み 具体的に検討中 今後検討予定 検討予定なし

・人事 実施済み 具体的に検討中 今後検討予定 検討予定なし

・購買 実施済み 具体的に検討中 今後検討予定 検討予定なし

・その他(具体名:)

実施済み 具体的に検討中 今後検討予定 検討予定なし

Q15 CF0 にとって、バック・オフィス業務における課題は何でしょうか？（複数回答可）

- 会社統合への対応 業務コストの削減（具体的な数値目標）
 業務品質の向上 内部統制の強化 業務要員の有効活用（単純業務から付加価値業務へ）
 業務の標準化・効率化 その他（

Q16 バック・オフィス業務のアウトソーシングを検討する際の懸念は何でしょうか？（複数回答可）

- 業務効率化により浮いた人材の処遇 社内における合意形成が難航する
 言葉の問題によるコミュニケーション低下 地理的な問題によるコミュニケーション低下
 業務品質の低下 契約や商習慣の違いによるトラブル 情報セキュリティのリスク
 知的財産のリスク オフショア先の地政学的リスク（テロ、政変、戦争、災害等）
 その他（

■CF0 としての情報収集についてお伺いします

Q17 業務に必要、もしくは参考にするための情報収集はどのように行っていますか？（複数回答可）

- ご自身でおこなう 部下からの報告 その他（

Q18 情報収集する方法についてお聞かせください。（複数回答可）

- セミナーへの参加 他社 CF0 との情報交換 インターネット（閲覧/検索）
 e-メール/メールマガジン ソーシャル・ネットワーキング 新聞
 書籍・雑誌から（よく読まれる雑誌は？）
 その他（

Q19 ご利用になるデジタル・ツールを教えてください。（複数回答可）

- インターネット（閲覧/検索） e-mail ソーシャル・ネットワーキング スマート・フォン
 どれもほとんど使わないが興味はある まったく使わない

【特別調査】IFRS 適用延期をどう考えるか？

2011年6月21日の自見金融相発言に始まったIFRS適用延期について、CF0の皆様方の現在の状況やお考えについて、以下ご回答頂けますでしょうか。

① 適用延期の発表までの時点で、IFRSに対してどのようなスタンスをとっていましたか？

- すでに任意適用する方針を決め、導入に向けた準備作業に着手していた。
 2015年あるいは2016年からの強制適用を想定し、導入に向けた準備作業に着手していた。
 2015年あるいは2016年からの強制適用を想定した対応の必要性は認識していたものの、具体的な対策に着手していなかった。
 日本の企業会計基準がIFRSへコンバージェンスしていく方向であるため、日本基準の改訂への対応が中心でIFRSそのものへの対応の必要性は感じていなかった。
 その他（

② 今回の「IFRS適用延期」について、どのように考えますか？

- 賛成 反対 どちらともいえない

③ 「IFRS 適用延期」に関する考え方について、上記②の賛成・反対等にかかわらず、あてはまるものを選択してください。（複数回答可）

準備記期間が十分に取れるようになって良かった。

その理由（

IFRS 適用については、企業サイドの意見が十分に反映されてこなかった。

IFRS 適用については、米国の動向も不透明であり拙速に適用の判断をすべきではない。

IFRS は欧米投資家を対象とした会計基準であり、日本の企業文化にはそぐわない。

IFRS の有用性が未だに理解できない。

IFRS 適用に向けて準備していた企業を混乱させてしまう。

IFRS 適用の延期により、日本企業や日本市場のグローバル化を遅らせてしまう。

IFRS 適用の延期により、IFRS の基準設定主体等への国際的影響力を損ねてしまう。

IFRS 適用の延期の決定が、十分な議論なく政治主導で決定されたことは問題である。

上場企業への一斉適用は無理である。

その他（

④ これまでの取り組みで分って来た IFRS 導入の阻害要因があればお答え下さい。

連結企業グループへ対するガバナンスの弱さ

コンサルタント費用負担

経理・財務部門の体制の弱さ

IFRS に精通した人材不足

トップマネジメントの理解不足

税法との関係（確定決算主義に基づく損金経理要件）

決算期の統一の負荷

システム変更の負荷

その他（

⑤ IFRS 導入をきっかけに取り組みようとしている課題はは次のうちどれですか。

連結ガバナンスの強化

PL から BS などの経営管理の見直し

経理・財務部門体制の見直し

IFRS 教育などによる社内の会計リテラシーの強化

情報システムの刷新

その他（

ご多用のところアンケートへのご協力誠に有難うございました。

本調査にご協力頂きましたご回答者には、「CFOFORUM 第38号」（9月10日発行）と書籍『IFRS時代の会計イノベーション グローバル連結経営を実現する情報システム戦略』を1部無料進呈させていただきます。以下にご回答者様のご連絡先をご記入ください。

ご氏名：.....様

ご勤務先：.....（証券コード：.....）

部署名：..... お役職：.....

ご勤務先住所： 〒.....

TEL：..... FAX：.....

Email：.....@.....